

## 要望書（回答）

### 1 総合体育館の建設（改修）について

総合体育館は、昭和 48 年に建設され、市民はもとより、各種大会や合宿等でも利用され、本市のスポーツ振興に大きな役割を果たしてきましたが、経年による老朽化が進んでいます。

今後、市政計画立案の際、多様な機能を有し、スポーツを通じた賑わいと交流人口の増加に繋がる新たな総合体育館の建設について、ご検討頂きますようお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ推進室 担当）

総合体育館につきましては、建設後 44 年が経過しており老朽化が進んでいる状況にあります。今後、市民ホールや学校など大規模な建設が控えているため、総合体育館につきましては最大 10 年間使用できるよう、不具合箇所の洗い出しを行い補修や改修に取り組んでいるところです。

年間 20 万人の利用がある総合体育館は、本市のスポーツ振興に欠かせない施設であることから、地方大会をはじめ全道・全国規模の大会や合宿誘致に最適な施設となるよう調査研究を行ってまいります。

### 2 緑ヶ丘総合運動公園の環境整備と諸施設の利用について

陸上競技場、野球場、テニス場に続き、サッカー場の改修も予定されており、総合運動公園としての機能が充実します。

これを契機に、本協議会も誘致活動をより積極的に行って参りたいと考えております。

つきましては、ハード・ソフト両面において利用者の利便性を考慮した施設環境整備と運営をお願いいたします。

(1) 総合運動公園利用者の利便性を考慮した駐車場の確保についてご検討をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ推進室 担当）

駐車場の確保につきましては、陸上競技場西側の空地を利用し約 400 台分の臨時駐車場として利用できるように整地しております。

また、今般のサッカー場改修工事の中でも、サッカー場北側に約 130 台分の臨時駐車場として利用できるように整地しております。

(2) 合宿チームのスケジュールを考慮した諸施設の利用について、ご協力をお願いいたします。

【回答】(総合政策部スポーツ推進室 担当)

市内スポーツ施設の管理運営は指定管理者が行っており、それぞれ様々な事業を自主的に展開し、各種スポーツ大会も開催されております。合宿チームの受入に際しては、スケジュールを把握しチームの要望等に応えられるように事業の日程変更をするなど柔軟な対応を行ってきております。

(3) 道央及び道北のテニス、陸上等の強豪チームは、春休み(3月)に練習場所を求めて雪の少ない地域で合宿を行っています。道内屈指のオムニコート、全天候型陸上競技場、積雪の少ない気候等、本市の優位性を活かした合宿誘致活動を推進する為、テニス場及び陸上競技場の早期運営について要望いたします。

【回答】(総合政策部スポーツ推進室 担当)

昨年は緑ヶ丘公園庭球場につきましては4月上旬に一部オープン、陸上競技場につきましては3月下旬からオープンさせて合宿の受入れを行っております。今後につきましても、合宿チームを受け入れるために指定管理者と連携を図りながら柔軟に対応していきたいと考えております。

### 3 国際大会の事前合宿誘致について

2020年東京夏季オリンピック等の国際大会にかかる事前合宿誘致について、本市の持つ優位性を活かし、本協議会と連携して国・道・関係団体等への誘致活動をお願いいたします。

【回答】(総合政策部スポーツ推進室 担当)

オリンピック等の事前合宿誘致につきましては、競技団体をはじめ関係団体に対して、本市の優位性をPRする必要がありますので、これまでの多くの実績とノウハウを蓄積している貴協議会と連携して活動してまいります。

### 4 全道全国大会の誘致について

本市における合宿状況は、従前から学生・社会人を問わず、氷上競技及び陸上競技が多くを占めております。

道内外からの合宿誘致について、道内随一の交通アクセス環境に優れた本市にとって“地の利”を活かす絶好の機会として捉え、誘致活動を積極的に行ってまいりたいと考えています。

各種の誘致活動の推進には、道内他都市に見られる各自治体が先頭に立ったまちぐるみの取り組みが大きな要素となることから、本市における誘致推進活動に対し、より一層のご理解、ご支援をお願いいたします。

- (1) 日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）開催について、学生が在学中に氷都・苫小牧でプレーができるよう、4年に一度苫小牧での開催をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ推進室 担当）

インカレにつきましては、これまで日本学生氷上競技連盟（以下「学連」という。）との協議により5年に1度の開催となっておりますが、学連からの要請により1年前倒しで平成28年度に開催しております。

平成29年度からは、競技を分離して開催されており、平成30年度のアイスホッケー競技に関しましては本市で開催する予定になっております。

アイスホッケーの競技者は、本市出身の選手が多い事からも在学中に1度は地元でプレーできるように、今後におきましても学連と協議をしていきたいと考えております。

- (2) 冬季競技であるアイスホッケーやスピードスケート大会をはじめ、テニス、陸上、サッカー大会など、スポーツ都市宣言の町として全道全国規模の大会を開催するよう積極的な誘致活動をお願いいたします。

【回答】（総合政策部スポーツ推進室 担当）

大会の開催につきましては、各競技団体の協力が必要ですので、各競技団体と連携を図りながら本市の優位性や施設情報等をPRし大会誘致活動を実施してまいります。

## 5 大会等事業の推進体制の強化について

苫小牧市大会等誘致推進協議会の実情及び推進協議会を取巻く環境をご理解いただき、本協議会の運営に対し、財政的支援の強化をお願いいたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

貴協議会の大会等誘致事業につきましては、本市における交流人口の増加に伴う地域経済への波及効果が大きいものと考えておりますことから、今後も市内関係機関等と連携を図りながら、財政的な支援を行ってまいりたいと考えております。